

取扱説明書

保管用



屋外用・投光器型フラッドライト

(防雨型・安定器内蔵型)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

仕様

品番	適合ランプ	適合電圧	消費電力
AD-2595-W	LED 52W×1灯（白色相当）	AC100V/200V/240V（±6%）	52W
AD-2595-L	LED 52W×1灯（電球色相当）	AC100V/200V/240V（±6%）	52W

※1回路の最大接続台数は15台（200V時30台）までです。

この取付説明書のマークについて

- ⚠ 警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ 注意 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

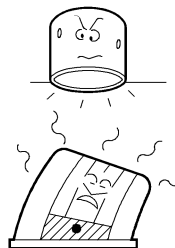
⚠ 警告

- ❗ LEDを長時間直視すると目を傷めることがあります。
- ★十分にご注意ください。
- ⚠ 一般用屋外器具（防雨型）です。
- ⚠ 振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
- ★いずれの場所も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電の原因となります。
- ⚠ 次のような場所には取り付けないでください。
- 補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
- 石膏ボードのなど弱い建材面への取り付け
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
- ★いずれの場合も器具の落下事故による器具、その他の破損やけがの原因となります。
- サウナへの使用 ●浴室などの湿気の多い場所
- ★器具破損によるけがや漏電、感電事故の原因となります。
- ❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
- ★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。
- ⚠ ドライバーなどの異物は差し込まないでください。
- ★感電事故の原因となります。
- ⚠ 濡れた手で作業しないでください。
- ★感電事故の原因となります。
- ⚠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
- ★火災や感電事故の原因となります。
- ⚠ 器具を布などで覆わないでください。
- ★高温のためヤケドする恐れがあります。
- ★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注意

- ❗ 必ずAC100V/200V/240V（定格電圧±6%）の電源で使用してください。
- ★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となります。
- ⚠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
- ★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
- ★過熱して、発煙や発火、ランプ寿命の短縮の原因となります。
- ⚠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
- ★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。
- ⚠ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
- ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ⚠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
- ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

- ❗ 器具取付の際は、器具重量を考慮した取付をしてください。
- ⚠ ご使用場所によっては、水抜き用ゴム栓をはずしてご使用ください。
- ❗ 設置（アース）工事は法規で定められていますので、必ず行ってください。



使用上の注意

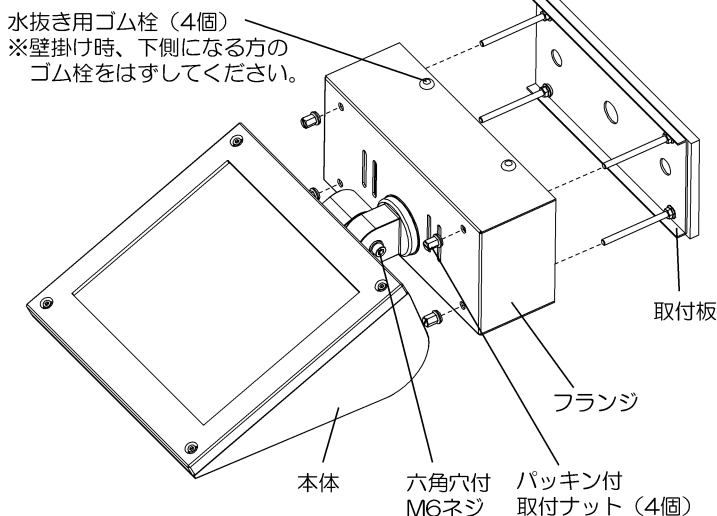
△ 注 意

- ⊘ 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
- ⊘ 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。
- ❗ 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のばらつきがある場合があります。予めご了承ください。
- ❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
- ❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく場合があります。予めご了承ください。

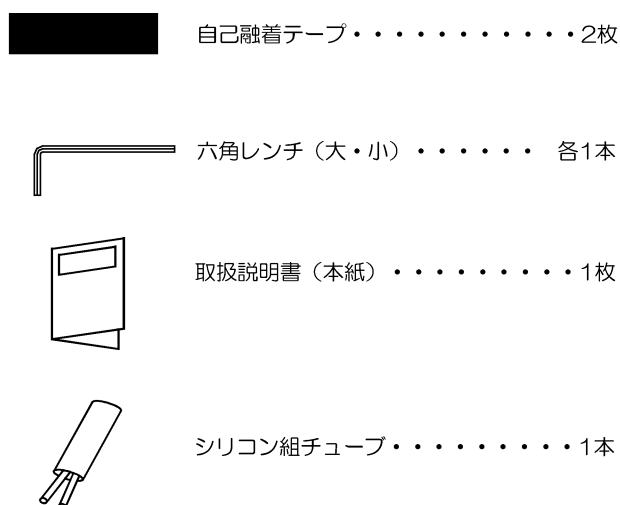
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。

■ 器具構成図



■ 付属品

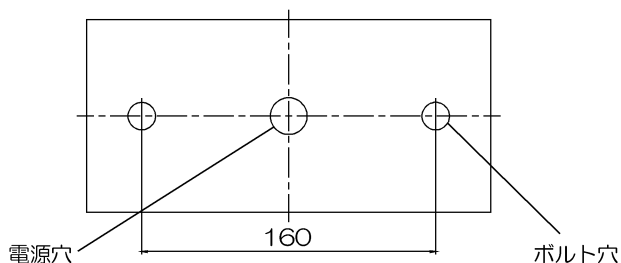


取り付け場所の確認

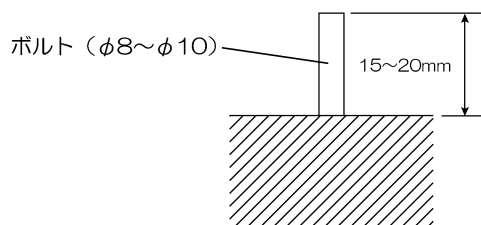
⚠ 警 告

- ❗ この器具はボルト止め専用です。必ずボルトにて取り付けてください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。
この器具は壁付専用器具です。天井、床面には取り付けないでください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

■ 取付ピッチと、電源穴位置



■ 取付ボルト



取り付け方

⚠ 注意

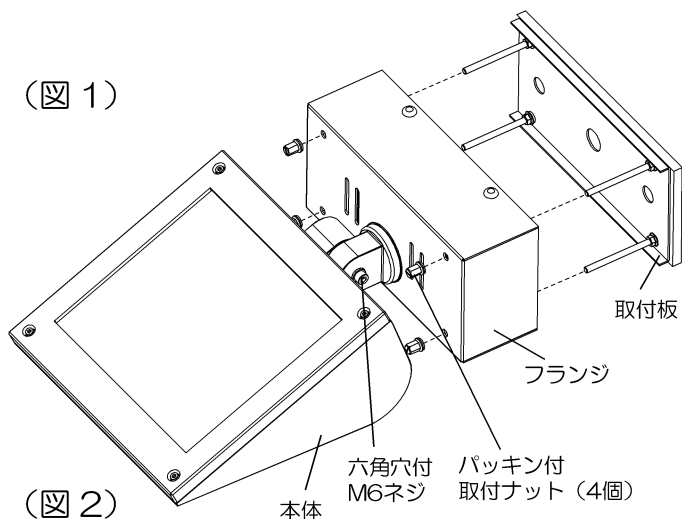
❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

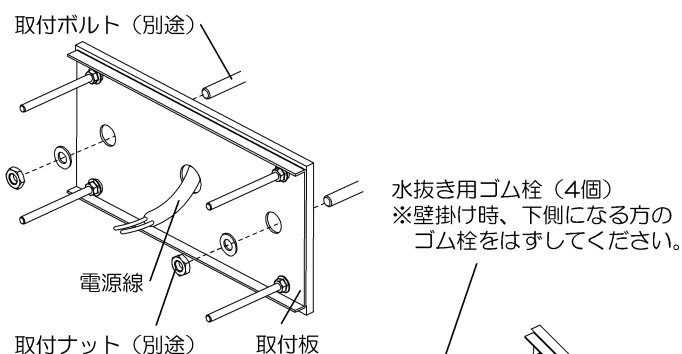
❗ 器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に器具重量に耐えられるよう、取り付け部の強度を確保してください。

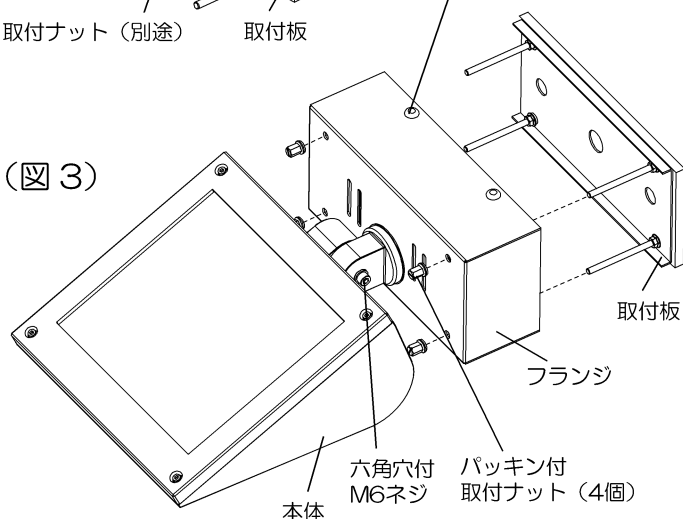
(図1)



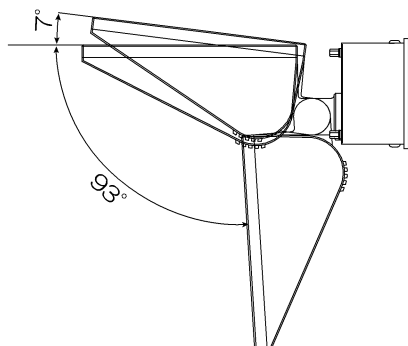
(図2)



(図3)



(図4)



1. 器具を取り付ける前に (図1)

- パッキン付取付ナット (4個) を外し、取付板を取り外してください。
- 器具取り付け面を平らに仕上げます。
- ★取り付け面に凹凸があると、取り付け部のパッキンの防水性が損なわれますので、十分注意してください。
- 壁掛け時、下側になる方の水抜き用ゴム栓 (3個) をはずしてください。
- ★水抜き穴となります。

2. 取付板を取り付けます。 (図2)

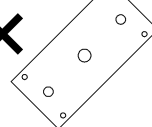
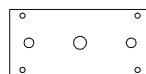
- パッキンと取付板の電源穴から電源線と接地 (アース) 線を引き出し、別途施工の取付ボルトに取付ナット (別途) でパッキンと取付板を取り付けます。

⚠ 警告 ●締め付けが弱かったり、隙間があると感電、漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。

- 器具取付面には、フランジ内への雨水侵入防止のため、平らな面に必ずパッキンを介して取り付けをしてください。

⚠ 注意 ●取付板は必ず器具が水平になるように取り付けてください。

- ★不良の場合、感電、漏電の原因となります。



3. 電源線を接続します。

- ①電源線の被覆を剥き本体のリード線と接続します。
 - ②裸線が見えないように、自己融着テープでしっかりと巻き付けた上、絶縁テープを巻いてください。
- ★不良の場合、感電、漏電の原因となります。
- ★必ず耐熱保護チューブを取り付けて施工してください。



4. アース線を接続します。

- フランジについているアース端子に接続してください。
- 必ずD種 (第3種) 設置工事を施してください。
- ★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

5. 本体をセットします。 (図3)

- フランジを取付板にセットし、パッキン付取付ナット (4個) でしっかり締め付けてください。

⚠ 警告 ●本体と取付板に隙間が出ない様、しっかり締め付けてください。

隙間があったり、凹凸の面に取り付ける場合は、コーキング処理を施してください。

- ★締め付けが弱かったり、隙間があると、感電・漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。

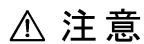
6. 任意の照射方向に器具を合わせてください。 (図4)

- 垂直方向に回転する場合、付属の六角レンチで六角穴付 M6ネジをゆるめ調整し、しっかり締め付けてください。
- 回転は図5のように行うことができます。
- ★一定以上に動かない構造となっておりますので、無理に力を加えないでください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて



注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やLEDが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- 1年に1回はお手入れを行い、異常がないか点検してください。また3年に一回は専門業者、有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

注意

- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

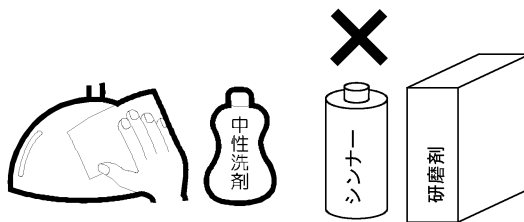
- スイッチを切った直後のLEDは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を十分拭き取ります。

光源ユニットについて

LED照明器具の光源寿命（※）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

- 注意** この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。